



公開特許公報

特 許 願 ()

46. 6. -5

特許庁長官 殿

昭和 年 月 日

1. 発明の名称 **みの毛**

2. 発明者

住 所 **東京都世田谷区三軒茶屋2の28の18**

氏 名 **フジノ 野 幸 雄**

3. 特許出願人

住 所 (居所) **東京都中央区日本橋室町**

氏 名 (名称) **(815) トク レ 株 式 会 社**

代表者 **広 田 精 一 郎**

4. 代 理 人 住 所 **東京都千代田区丸の内3丁目3番1号** 電話 (代) **215-8941**
氏 名 (1466) 弁理士 **中 松 潤 之 助**

(ほか 3 名)

①特開昭 48-44529

④公開日 昭48.(1973) 6.26

②特願昭 **46-39721**

②出願日 昭**46**(1971) 6.5

審査請求 **有** (全2頁)

庁内整理番号

⑤2日本分類

721147
624024

42 G0
125 E701

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 発明の名称 **みの毛**

2. 特許請求の範囲

アクリロニトリルと塩素化合物30重量%以上を共重合させたモダアクリル繊維と、アクリロニトリル99重量%以上のアクリル繊維とを混合してなるみの毛。

3. 発明の詳細な説明

本発明はかつら等の頭部装飾品のみの毛に関し、詳しくはモダアクリル繊維とアクリル繊維とを混合してなる、人毛様風合と色相とを備えるみの毛に関する。

現今、世界的なかつらブームで人毛が不足しており、これに変わるものとして生産性大で価格も安価な合成繊維製かつら用原糸が使用されるようになった。

かつら用合成繊維としては、アクリル繊維、モダアクリル繊維、ポリビニルクロライド繊維、ポリアミド繊維、ポリグラール繊維等があるが、かつらの安全性より難燃性が要求され、塩素系ビニ

ル化合物単体やアクリロニトリルとの共重合繊維が一般的になつた。

ところが従来一般に、単一の繊維100%でみの毛が製作されていたため、人毛に比べ単調なつや、風合い、色相にかつてしまい、また難燃性にも欠点があつた。

本発明はこれらの欠点を解消するためになされたものであり、その要旨とするところは、アクリロニトリルと塩素化合物30重量%以上を共重合させたモダアクリル繊維と、アクリロニトリル99重量%以上のアクリル繊維とを混合してなるみの毛に存する。

ここでモダアクリル繊維の混合率は、セツトゥエープ性、風合などを考慮して30~50重量%とすることが好ましく、また上記繊維およびアクリル繊維の染色法は、モダアクリル繊維を顔料による原液着色とし、アクリル繊維を染料による後染めにすることが好ましい。この理由は、両種繊維に色相の差を与えることによつて、これら両繊維からなるみの毛に人毛に一層近似した色の深み

を出すためである。

かつら用合成繊維として要求される性質は、人毛と同程度の太さ、ウェーブセット性、人毛に近いヤング率、クシ通しの容易性、色の深み、良好なつや等である。

ところでモダアクリル繊維の欠点としては、セツトウェーブの寸法安定性が悪いため、みの毛の長いロングヘヤースタイルでは、みの毛の自重によつてウェーブが伸びてしまうことである。その点アクリル繊維は熱セツト後の寸法安定性がよいためこのような現象はないが、反面風合いが硬い欠点を持ち、また可燃性で燃えやすい。

本発明は上記各繊維特性を考慮し、両繊維の長所を生かすため2種の性質の違うアクリル系繊維を用いてみの毛を構成するものであり、これによつて単一繊維100%よりなるみの毛の欠点を補うものである。

モダアクリル繊維とアクリル繊維との混合率については、難燃性を阻害しなく自己消火性をもたせるには、モダアクリル繊維を少なくとも30重

層も以上混合することが好ましく、風合をも考慮に入れると50:50の比率が最も好ましい。

本発明で使用するモダアクリル繊維としては、アクリロニトリルと塩化ビニル共重合体、アクリロニトリルと塩化ビニリデン共重合体のいずれでもよい。

また両種繊維の染色については、先に述べたようにモダアクリル繊維を顔料による原液着色にしアクリル繊維を染料による後染めにするのが好ましく、この混合体によつて、この後染の光の透過率に差が出るため非常に深みのある人毛に近い色相が得られる。 しかしこれに限定されるものではなく、両種繊維を原液着色又はカチオン染料による後染によつてもよい。

このように本発明はモダアクリル繊維とアクリル繊維を混合してみの毛を構成するものであり、その後該みの毛はパイプ等の中空円筒に巻きつけられ、恒温乾燥機にて60〜90℃のウェーブセツトを施されてかつら用みの毛として仕上げられる。

かくして難燃性、風合共にすぐれ、特に両種繊維の色相の差によつて、人毛に近似した深みのある色を備えるみの毛を提供することができる。

特許出願人 東レ株式会社

5. 添附書類の目録

(1) 明細書	1通
(2) 図面	1通
(3) 委任状	1通
(4) 特許出願書	1通
(5)	通

6. 前記以外の発明者、特許出願人および代理人

(1) 発明者

住所

氏名 なし

(2) 特許出願人

住所(居所)

氏名(名称) なし

代表者

(3) 代理人

住所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号 電話(代)211-8741

氏名(2977)弁理士 伊藤 堅太郎

同(6000)弁理士 熊倉 敏

同(6254)弁理士 山本 茂